

「〈声〉とテクスト論研究センター」と「19世紀学研究所」Institute for the Study of the 19th Century Scholarshipの2つの新潟大学コア・ステーションが共催で、連続講演会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

連続講演会

越境する思想・異郷者の詩

——声と知のトランスレーションへ

日時 2014年3月10日（月）

場所 新潟大学総合教育研究棟D棟1階 大会議室

受付 12時30分

第1セッション（13時—14時30分）

司会 高木 裕（新潟大学人文学部教授）

講演者 ピエール・ラフォルグ Pierre Laforgue（ボルドー第3大学教授・フランス）

講演題 *La langue, la voix, la poésie :poétique et politique de la parole dans le Cahier d'un retour au pays natal d'Aimé Césaire*（言語、声、ポエジー 一エメ・セザールの『帰郷者ノート』におけるパロールの詩学と政治—）

発表言語：フランス語

（休憩）

第2セッション（15時—16時30分）

司会 逸見 龍生（新潟大学人文学部准教授）

講演者 アン・トムソン Ann Thomson（欧州大学院教授・イタリア）

講演題 *What is intellectual history? New approaches and methods*（精神史とは何か—新たなアプローチと方法—）発表言語：英語

第1セッション、第2セッションとともに、通訳は、逸見龍生

問い合わせ 新潟大学人文学部 高木 裕（Tel.025-262-6467 メールアドレス takagi@human.niigata-u.ac.jp）または同学部 逸見龍生（Tel.025-262-6468 メールアドレス hemmi@human.niigata-u.ac.jp）まで